

「語りあおう、つながろう！ 大学・学生との情報交換会」に参加



地域ケアネットワーク（ケアネット）は、7つのコミュニティ住区を基盤エリアとして、地域の住民団体や関係団体が連携する支え合いの仕組みです。

ケアネットでは、その地域が持つ「福祉力」を生かした企画で取り組んでいます。共通課題である「新たな担い手の発掘」のため、近い将来社会の担い手となる学生に焦点をあて、大学生と各ケアネットの構成員が情報や意見交換を行い、お互いの事を知り合う場として12月9日(土)三鷹市市民協働センターに於いて、三鷹ケアネット合同事業が開催されました。

本学からは、保健学部生(後藤太一くん、山辺航くん)、総合政策学部生(百岳彩さん、佐藤光代さん)、外国語学部生(倉茂ほのかさん、楡井希望さん)の6名が参加し活発な意見を交換してきました。



倉茂ほのかさんより

「地域の方々が学生連携についてどのように考えているのか、求めていることや不安、相互のミスマッチを理解することができました。例えば学生にとっては当たり前と思えた内容でも、地域の方にとっては違う思いがあったりするなど、地域活動をする際には細かい打合せや相談をしてお互いを理解する必要があると思いました。また自身の活動について振り返る機会となり、学んだことや感じたことを整理することができました。」と、友好を深めることができた感想を寄せてくれました。

参加者のアンケートからも、今後も情報交換の場を開催した方が良いなどの回答が多く寄せられ、お互いのニーズを理解しあえる有意義な機会となりました。

みたから5号発行に向け、三鷹市内の農家さんに取材を実施

今回の情報誌『みたから』テーマは「都市農業」。取材は、進邦ゼミの学生(佐藤純巨くん、廣川滯菜さん、柚木貴裕くん)、ハイキング企画(アトレヴィ三鷹との連携事業)に関わっている生きがいづくりコーディネーターの履修生2名、さらに外国語学部生(高橋万葉さん、木下愛奈さん)もサポーターとして参加し、三鷹の農業の現状や、生産にあたってのこだわりなどを伺いました。

取材を行った進邦ゼミの学生は、限られた時間のなかで取材を行うことの難しさを感じつつも、これまで知らなかった都市農業のことや、作り手としてのこだわりを感じることができ、貴重な経験となりました。みたから5号は2月上旬に発行予定です。

参加学生の感想

防災機能など、農産物を生産するだけではない地域への貢献があることを知りました。

思っていた以上に、農家さんは地域と関わりながら仕事をしていることを知りました。

一年中食べられるように、ビニールハウスを使って栽培するなどの工夫があってすごいなと思いました。





外国語学部の学生が 中高生向けのワークショップを開催しました！

倉林ゼミナールと野口ゼミナールは、12月16日(土)14:00~井の頭キャンパスに於いて、おもてなしボランティア「英語&観光ワークショップ」を開催しました。このイベントは、外国人旅行者の増加と東京オリンピック・パラリンピック2020に向けて、東京を訪れる外国人を想定した①災害時の英語対応、②東京の新たな魅力の発見をテーマにした本学学生による中高生向けのワークショップです。

都内の中学校、高等学校に通う生徒13名が参加し、終了後に全員に参加証が手渡されました。



野口洋平准教授

第1部「東京観光の新たな魅力の発見」は、野口ゼミナールの学生15名が担当して「食べもの」「飲みもの」「雑貨」「スポット」「レストラン」の5テーマを5グループ別に話し合い、ターゲット、セールスポイント、売り方についてまとめ、プレゼンテーションを行いました。



ワークショップの様子



倉林秀男准教授

第2部は、災害時に訪都中の外国人とコミュニケーションを取るための「やさしい英語」表現を倉林ゼミナールの学生4名が担当して、グループワーク形式で学びました。テキストは「ことばの通じない国で被災した場合の身の安全」を中心に学生が独自に編纂したものを使用し、中高生は簡単な表現でもコミュニケーションが取れることを理解できたようです。



学生が編纂したテキスト

事前準備の新宿・新大久保エリア、谷中・根津・千駄木エリアでのフィールドワークを含め、地域交流活動を通じた教育活動ともなり、本学学生にとっても貴重な機会となりました。ワークショップを担当した学生から「中・高校生から新しいアイデアの提案が出され、刺激の多い一日でした。」などの感想が寄せられ達成感のある活動となりました。

Start ▶ 「国際交流・都市観光における 広域的な情報発信・交流促進等の取り組み」が始動！



四市行政連絡協議会(三鷹市・西東京市・武蔵野市・小金井市)で行う活動として、今回中心となる三鷹市が(株)リクルートライフスタイルとともに、大学生が「地域のおもてなし伝道師」となって、飲食店に対する訪日外国人への実務支援を目的とした企画です。学生の取り組みとしては、インバウンド向けの実務セミナー開催のサポートや、2人1組程度のチームとなり飲食店に伝道師として訪問し、訪日外国人おもてなしのポイントの伝達や訪日外国人への実務支援の取り組みへ参加を予定しています。

この活動の説明会が11月20日(月)に実施され、総合政策学部生(蜂須啓矢くん、小林真琴さん、大野俊哉くん)、外国語学部生(五十嵐麻耶さん、塚越理奈さん、石川史織さん)の6名が参加しました。スキルやノウハウを地域内で共有することで、地域内のおもてなしに対する意識が醸成するとともに、継続的な事業運営ができるような仕組み作り構築のための活動がいよいよ動き始めました。

information

■華道部×アトレヴィ三鷹

昨年引き続き「いけばな展示」を開催。
今年、年賀状の立体生け花の展示に挑戦！

来年の飛躍を感じさせてくれる、大きな年賀状を企画しています。

【展示期間】12月28日(木)~1月4日(木)

【展示場所】三鷹駅改札内 4階ひだまりバルコニー前

※改札内3階の店舗花の装飾も実施。三鷹駅をご利用の際にはぜひご覧ください。

